

症例検討会

平成22年12月

羽島店

リウマチ治療薬 エンブレル皮下注について

(患者情報)

60代 男性 RA メトトレキサート (MTX) 2錠/週
2年間服用しているが手足の痛みが続いている。

(治療経緯)

H21年11月 エンブレル皮下注開始

- ① プレドニゾロン錠 5mg 0.5T
タケプロンOD錠 15mg 1T
分1 朝食後 14日
- ② メトトレキサート錠 2mg 2T
分2 朝、夕食後 2日
12時間間隔で服用
月曜日のみ服用
- ③ フォリアミン錠 5mg 0.5T
分1 朝食後 2日
水曜日のみ服用
- ④ エンブレル皮下注 25mg シリンジ 0.5mL 4筒
水、土曜日注射

H22年1月

眼のちらつきと夜、信号が見にくいとの事で眼科を受診
白内障と診断される
エンブレルの白内障、眼のちらつきの副作用は1%未満
RAの痛みが落ち着いているので治療継続

H22年5月白内障手術

H22年8月 炎症反応下がり痛みもないためメトトレキサート中止

H22年11月 エンブレル25mg→50mgに変更

- ① プレドニゾロン錠 5mg 1T
分1 朝食後 14日
- ② モービック錠10mg 1T
タケプロンOD錠15mg 1T
分1 夕食後 14日
- ③ エンブレル皮下注50mgシリンジ1.0mL 2筒
水曜日注射

エンブレル50mg週1回投与は25mg週2回投与と同等の有効性および安全性が示され有害事象発現率は有意差が認められない。

有害事象 RA患者420例	エンブレル25mg 週2回投与	エンブレル50mg 週1回投与
全有害事象	93 (43.5%)	73 (47.7%)
注射部位反応	39 (18.2%)	28 (18.3%)
感染症	66 (30.8%)	51 (33.3%)

(RA患者 420例)

エンブレルは、TNF 受容体という蛋白とヒトの免疫グロブリンという蛋白の一部を人工的につなぎ合わせたもので、すべてヒト蛋白でできています。マウス蛋白がないので抗キメラ抗体はできないため、MTX との併用は必ずしも必要ではなく、単独でも使用できます。アナフィラキシーはほとんどありませんが、局所の発赤やかゆみなどの軽いアレルギー反応は多くみられ、時に全身のかゆみやじんましんなどの強いアレルギー反応や効果の減弱がみられます。MTX との併用で、アレルギー反応も抑えられ、RA に対する効果も強くなることが知られていますので、できれば MTX と併用で使用した方がよいでしょう。またレミケードと異なり、皮下注射で使用します。半減期（体内での薬の濃度が半分になる時間）が4日と短いため、1週間に2回の注射（25mgシリンジ）が必要で、多くは患者様自身がトレーニングを受けて自己注射で使用します。

(薬価)

エンブレル皮下注25mgシリンジ0.5mL 15309/筒
エンブレル皮下注50mgシリンジ1.0mL 30206/筒